

地理的表示 「山梨」ワイン シンポジウム2019

Yamanashi

ワイン新時代の幕開け、いざ世界へ! そして未来へ!

古くヨーロッパの「原産地呼称制度」を起源とする酒類の地理的表示制度。

わが国初のワインの地理的表示として誕生したGI Yamanashi。

厳格な品質管理によりその評価が高まっています。そして、昨年10月、

国産ぶどうのみを原料とする日本ワインの表示ルールがスタート。

日本ワインが、そして永きにわたって築き上げられた「山梨ブランド」が

GI Yamanashiとして、いよいよ世界へ堂々進出する新たな時代。

輝く未来を創るのはあなたです。

シンポジウムでは、多彩なパネリストがGI Yamanashiワインの魅力を

掘り下げます。テイスティングでは、GI Yamanashiワインの香りや味わい

といった個性を存分に体感してください。

参加
無料

2019

3/21

木・祝

13:30 ~ 16:40 (終了予定)

受付開始 13:00~

【プログラム】

- ・蛭原健介氏による基調講演
- ・山梨ワインを語るパネルディスカッション
- ・GI Yamanashiワインテイスティング

【会場】

THE GRAND HALL

東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー3階

JR山手線・京浜東北線・横須賀線・東海道本線「品川駅」港南口より徒歩3分 / 京急「品川駅」より徒歩8分



協力: 独立行政法人 酒類総合研究所、山梨県、山梨県ワイン酒造組合

主催: 東京国税局

基調講演



蛭原 健介 明治学院大学法学部グローバル法学科教授

1972年、福岡市生まれ。
 明治学院大学法学部法律学科専任講師・助教授・准教授・教授を経て、
 2018年4月より、明治学院大学法学部グローバル法学科教授。
 専門はワイン法、公法学、EU法。
 国際ワイン法学会理事。
 日本ソムリエ協会「ソムリエ・ドヌール」(名誉ソムリエ)。
 プルゴーニュワイン騎士団シュヴァリエ叙任。
 主な著書に「はじめてのワイン法」など、その他日本ワインに関する論文多数。

山梨ワインを語るパネルディスカッション

モデレーター

パネリスト



後藤 奈美

独立行政法人
酒類総合研究所 理事長



安蔵 正子

丸藤葡萄酒工業株式会社
栽培醸造家(ヴィニロン)



稲垣 敬子

「ワインと食とSakeの情報誌ヴィノテック」
編集長



蛭原 健介

明治学院大学法学部
グローバル法学科教授



小笠原 結花

Koshu of Japan プロデューサー



河合 香織

ノンフィクション作家
「ウスケボーイズ」著者



野沢 たかひこ

株式会社くらむぼんワイン
代表取締役社長



信国 武洋

株式会社フォーシーズ
エグゼクティブディレクター
元ジョエルロブション/エグゼクティブソムリエ



応募要項

地理的表示「山梨」ワインシンポジウム2019に参加を希望される方は、専用応募フォームよりご応募ください。
 抽選で300名様をご招待いたします。

応募方法	URLもしくはQRコードより専用応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上、ご応募ください。
応募締切	3/3(日) 締切
お問い合わせ先	地理的表示「山梨」ワインシンポジウム2019参加募集事務局 info@gi-yamanashi.com ※ご応募者の個人情報は、抽選作業、参加証の返信、事務局からの連絡及び当日受付のみ使用致します。 ※ご応募及びご参加は満20才以上の方に限らせていただきます。※お車での来場は禁止いたします。 ※予告無く内容を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

QRコードから
アクセス可能!



<http://gi-yamanashi.com/>